あだち

2026年11月1日発行・通巻第366号

法人ニュース
https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/adachi/

絵はがきコンクール受賞作品
税理士会支部長賞



北三谷小学校
堤 佑奈さん

受賞者本人コメント

税が私たちの生活を支えている「未来」への架け橋になっていることを表しました。コンクールでこのような賞をもらえるなんて・・・と最初はびっくりしましたが、私の伝えたい事が伝わってよかったなと感じました。

よき経営者をめざすものの団体
公益社団法人 足立法人会

「会員増強」強化月間スタート

新たな出会いや交流を広げよう



本田委員長

今年度も会員増強運動の強化月間が始まりました。会員増強は法人会の重要な課題であり、全国の会員数70万社回復に向けて大切な時期です。

会員増強は、会員数を増やすだけでなく、新たな出会いや交流を広げ、法人会の発展につながる大切な活動です。足立法人会のさらなる発展のためにも、皆さまのご協力をお願いいたします。

お知り合いやお取引先などで、まだ未加入の会社様や個人事業主様がいらっしゃいましたら、ぜひ入会のお声がけをお願いいたします。

皆さまの一言が、新たな仲間との繋がりを生む力になります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

（組織委員長　本田　順一）

支部別目標数

支部	法人数	非会員	会員数	目標数
1	725	516	219	10
2	652	454	199	10
3	814	544	272	10
4	560	407	148	10
5	384	284	100	10
6	771	548	218	10
7	710	556	154	10
8	578	417	160	10
9	314	202	112	10
10	673	486	193	10
11	910	680	222	10
12	847	647	197	10
13	683	453	228	10
合計	8,621	6,194	2,422	130

詳しくは法人会事務局まで　電話　03（3881）0326

第42回　法人会全国大会　茨城大会への参加

公益財団法人全国法人会総連合主催による第42回法人会全国大会が、10月8日（木）茨城県水戸市の**水戸市民会館**にて開催され、当会は鈴木会長、相臺税制委員長を中心に7名で参加いたしました。

大会では、令和9年度税制改正に関するスローガンや提言内容の報告、優秀な実績を残した単位会への表彰や青年部会による租税教育・健康経営活動の事例発表など、全国各地から集まった法人会が最新の活動情報を共有できるとても有意義な時間でした。

最後に、次年度の第43回大会が福島県にて開催される事が発表され、茨城大会は盛会のうちに閉会いたしました。

（参加７名　事務局長　橋浦　亮）

集合写真▶



▼ 大会式典の様子



令和9年度税制改正スローガン

○社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要　将来世代にツケを回さない仕組み作りを！
○「金利のある世界」への回帰を踏まえ、金融市場の動揺を招かない財政運営を！
○企業への過度な社会保障料負担を抑制し、中小企業の活性化に資する税制措置を！
○本格的な事業承継税制を確立し、地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ！

第27回　足立凧まつり

10月3日（土）第27回足立凧まつりに青年部会として参加し、租税教育活動「こども税金クイズ」と、大凧から飴玉を落下傘のように落とす「キャンディーシャワー」を実施しました。





▲表彰式にて金賞を授与する田中部会長

当日は青空が広がる絶好のイベント日和となり、多くの子どもたちで賑わいました。こども税金クイズには300名近くの親子にご参加いただき、楽しみながら税金について学んでいただく機会となりました。また、キャンディーシャワーも午前・午後に複数回実施し、大凧から飴玉が舞い降りるたびに子どもたちの歓声が上がり、会場は大いに盛り上がりました。

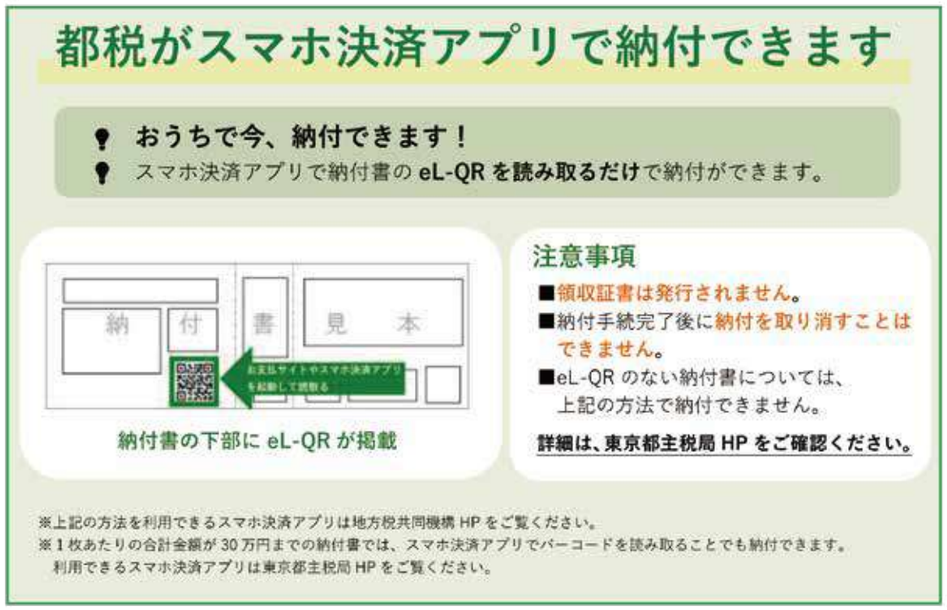
今年は天候にも恵まれ、多くの子どもたちの笑顔に触れることができ、地域に根差した法人会活動の大切さを改めて実感する一日となりました。

（参加13名　担当副部会長　渡辺　隆之）

足立税務署からのお知らせ



都税事務所からのお知らせ



あだち区民まつり A-Festa 2026

10.10(土) 10.11(日)
10：00～16：00



今年は10月10日・11日の日程で、荒川河川敷でＡ－Ｆｅｓｔａが開催されました。

今年の８月９月は雨が多い日が続きましたが、秋は湿度が低い分日差しが強くなりやすいとのことで、気温以上に暑く感じる中での開催でした。

天候はよかったので、肌感としましては、全体に大変多くの来場者があったのではないかと思います。

私たち足立法人会では、税金クイズ（600名）、資料配布（1,000袋）、物販ではポップコーンとスーパーボールすくいを行いました。

税金クイズと資料配布は、女性部会の皆さんの頑張りで、午前中には終了するくらい盛り上がりました。

ポップコーンでは青年部を中心とした声かけで、例年以上の賑わいとなり、売上も過去最高を記録しました。また、スーパーボールすくいは、今年は２プールで行いましたが、子供がいない時間がほとんどない程の人気でした。

物販の売上は、例年通り経費を引いた収益を足立区育英資金積立基金に寄付をいたします。そして、両日ご協力をいただきました税務署職員の皆様ありがとうございました。

今年会場に来られなかった会員の皆様、来年はぜひとも足をお運びください。楽しいですよ。

最後となりますが、参加された皆様、お忙しい中、そして大変暑い中、本当にありがとうございました。

来年もよろしくお願いします。

（公益事業委員長　矢島　大介）

▼朝のミーティング



◀ 資料配布の様子



ポップコーン



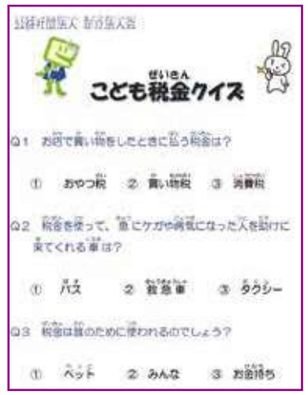


スーパーボールすくい

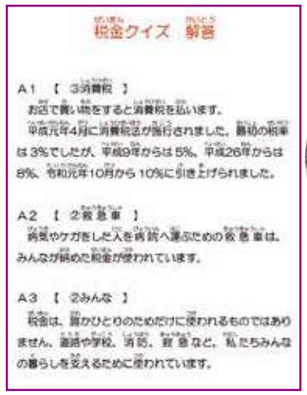
美味しそうでしょう！



税金クイズの問題



税金クイズの解答





税金クイズの様子
「わかるかな？」





10日（上）・11日（下）お手伝い下さった会員と足立税務署職員の皆さん

支部会員紹介

第11支部（平野1～3丁目、一ツ家1～4丁目、東六月町、保塚町、保木間1～5丁目、東保木間1～2丁目）

株式会社 工房彩美（コウボウサイビ） アオイリフォーム足立店（店舗）

代表取締役社長 三田村（みたむら） 敏秋（としあき）

創業のきっかけと思い

三田村社長は2019年5月にそれまで培った建築・リフォーム業界での経験と技術を生かし、「お客様一人ひとりのご要望に、より近い立場で丁寧に応えられる会社をつくりたい」という思いから**株式会社工房彩美**を設立しました。

現在は**アオイリフォーム足立店**として、足立区を中心に地域密着で事業を展開しています。



◀ 事務所（外観）



仲の良い、社長（中央）と社員▶

主な事業内容

戸建住宅・マンション・店舗・事務所などのリフォーム・改修工事を幅広く対応しており、更に水まわり設備交換、内装、間取り変更、屋根・外壁塗装、雨漏り修繕、小規模補修まで、住まいの困りごとを一貫してサポートしています。また、工場・商業施設など法人向けの建物改修工事も承っています。

事務スペース（内観）▶



◀ 打合せスペース（内観）

会社の強み・PR・アピールポイント

地域にお住まいの方をはじめ、マンション管理組合、不動産管理会社、店舗、事業所、工場など、個人・法人を問わずご依頼を頂いており、「相談しやすい」「説明が分かりやすい」「小さな工事でも丁寧に対応してくれる」とのお言葉を頂き、地域に根差したサービスを提供しています。

❶約30年の経験を生かした提案力

建物の状態・ご予算・ご希望に合わせた最適な提案から、現地調査、見積り、施工、完工後のフォローまで一貫して対応を行っており、また内装・水まわり・外装まで幅広くご相談いただけます。

❷明るく相談しやすい店舗づくり

リフォームは“楽しみ”につながるものです。そのため、「明るい・相談しやすい・敷居が低い会社」として認知して頂きたく、店舗の雰囲気づくりにこだわり、地域の方が気軽に立ち寄れる店を目指しています。

❸法人向け工事への強化

現在、地域のお客様へのきめ細かな対応を続けるとともに、店舗、事務所、工場、商業施設などの法人向け改修工事にも注力しており、社員の技術力及び提案力向上と、より幅広い工事に対応できる体制強化を進めています。

仕事・社員への想い

年齢や担当にかかわらず意見を伝え合える、風通しのよい職場づくりを大切にしています。少人数の会社ならではの連携力を生かし、現場と事務が協力して、お客様のご相談にも素早く対応しています。休日には社員同士でゴルフに出かけるなど、和やかな関係も育んでいます。技術力はもちろん、お客様や社員、職人、協力会社との信頼関係を大切にし、気持ちよく仕事ができる関係づくりを心がけています。

人と地域への想い・将来への展望など

スタッフによる「朝のまち清掃」や、社長の消防団活動など、地域の一員として身近な活動を大切にしています。足立区でのご縁を大切にしながら、地域に根差した企業を目指しています。

法人会では税務や経営を学び、地域事業者の皆さまとの交流も深めています。これからも住宅、店舗、事業所のリフォームを通じて、安心できる暮らしと快適な環境づくりに貢献してまいります。

建物に関するお困りごとは、どうぞお気軽にご相談ください。

米澤支部長コメント

今年7月に入会された、まだまだ若い会社です。法人会にはいろいろな交流の場があり、異業種交流会や各種イベントに参加して頂き、たくさんの方とつながり、ぜひ商売の輪をどんどん広げていってください！

○ 会社情報 ○

株式会社 工房彩美
アオイリフォーム足立店（店舗）

住　所：東京都足立区一ツ家1-20-12
　　ライズコートG&G1F（店舗）
連 絡 先：03-5856-5038
Mail：info@aoi-reform.com
営業時間：8：30～17：00（日曜・祝日定休）
アクセス：つくばエクスプレス六町駅から徒歩約12分

HPはこちら→

鮨処 にわ　大将 丹羽（にわ） 泰孝（やすたか）

お店開業のきっかけと苦労

16歳の頃、寿司職人の道に入り、腕を磨き続けてきた大将。長年勤めた店が寿司業をやめることになったことを機に、2004年44歳で独立を決意しました。資金調達や顧客づくりに苦労しながらもお客様とゼロから信頼を積み重ねていかなくてはなりませんでした。毎朝豊洲で新鮮な素材を仕入れ、技を極めた大将が丁寧に握る寿司と愛想の良い女将さんの丁寧な接客は地元で長く愛されています。個室も備え、お祝い・法事・宴会など幅広い場面で利用されています。



◀ 鮨盛り



▶ 大将お任せコース

お店のPR・強み・アピールポイント

❶お客様に合わせた柔軟な対応

個人店ならではの柔軟な対応が魅力です。人数・予算・定休日の相談にもできる限り応じ、シャリの大きさまでお客様の好みに合わせて握る細やかな気配りが「また来たい」と思わせる理由です。

❷専門家との連携

魚は豊洲、米はお米マイスター、海苔やお茶も専門店から。寿司酢は自家調合を続け、昔ながらの仕事を守る姿勢が店の味を支えており、長年の信頼関係が品質の土台です。

❸ランチでも手を抜かない

昼でも夜と同じネタを使い、「一度の食事が店の評価につながる」という思いで提供しており、初めて来た方にも、変わらぬ味を楽しんでもらえるよう心を込めています。

❹清潔感の徹底

「掃除に始まり、掃除に終わる」を基本に、店内は常に清潔。魚を扱う店でありながら匂いを感じさせない空間づくりを徹底し、白衣も常に清潔に保っています。料理だけでなく“空気感”まで含めて店の品質と考えています。

米澤支部長コメント

いつも美味しくて新鮮なお料理をいただいています。昔ながらのお寿司屋さんという雰囲気の素敵な店構えで、店内も落ち着いていて居心地がいいですよ。私もたびたび利用していますが、皆さんもぜひ一度賞味ください！



◀ 店舗前（外観）



二人三脚
大将（左）と女将さん（右）▶

大将と女将さん

❶仲良く二人三脚

大将は根っからの仕事人で、休日も店に顔を出し翌日の準備や掃除を欠かしません。趣味はゴルフで法人会コンペにも参加しています。女将さんは「多くの人と出会えることが楽しい」と語り、昼の営業後は自分の時間も大切にしています。実は二人ともお酒が苦手という微笑ましい一面もあり、長年の二人三脚で店を支えています。

❷人と地域への想い

水曜日のみの休みのため法人会はじめ地域への活動参加は限られてしまいます。

しかしながら法人会や地域の交流の場として店を活用して欲しいと思っています。

若い世代には、寿司の楽しさをもっと知ってほしいという思いもあり、コースの方が多くのネタを楽しめること、コストパフォーマンスが良い場合があることなど丁寧に説明しています。

❸将来への展望など

奇抜な創作寿司ではなく、寿司本来の良さを守りながら、お客様の要望には柔軟に応える姿勢を大切にしています。「働けるうちは頑張りたい。健康でいられること、お客様が来てくれることが何より」と語る大将。22年続く店の温かさは、職人としてのこだわりと、お客様一人ひとりに向き合う誠実さに支えられています。



カウンター10名、
テーブル12名、座敷24名の座席

○ 会社情報 ○

鮨処 にわ

住　所：東京都足立区保木間4-50-16
連 絡 先：03-3850-0066（代表）
https://sumamoba.com/sushi-niwa
営業時間：月・火・木・金・土
　　12:00～13:30、17:00～23:00
　　日・祝日：12:00～22:00
アクセス：竹ノ塚駅から綾瀬行きバス
　　淵江第一小学校入口下車徒歩２分
駐車場２台有り

HPはこちら↓

第４回

講談師 神田ようかんの 続・束って語れば



祝　二ツ目昇進決定！！

来年3月に二ツ目への昇進が決まった神田ようかんさん。ますます広がる挑戦に注目です！

シェイクスピアを講談で演る

もしもシェイクスピアの名作が、江戸時代の日本を舞台にした物語だったら？今回は、外国の名作を日本の講談に仕立てる面白さや、言葉だけで迫力ある立ち回りを描く「決まり文句」の魅力をご紹介。神田ようかんがご案内する、奥深くも楽しい講談の世界へようこそ！

神田ようかんでございます。本日もお付き合いをお願い申し上げます。私事ですが、来年の3月に二ツ目に昇進する運びとなりました。今回は勇み足で少し踏み込んだお話になります。

私が、シェイクスピアの研究を齧っていたことは以前触れたところですが、そうとなれば自然と、シェイクスピアを如何に講談で演るかという問いが浮かんできます。前座の身で、まだまだ試行錯誤の途中。今回は、構想の段階にあることも含めて書いてみたいと思います。

【シェイクスピアの韻律と講談の調子】

シェイクスピアの戯曲には、弱強五歩格(iambic pentameter)という詩行の形式が使われています。タタン・タタン・タタン・タタン・タタン。この弱・強を五つ重ねる韻律を基本として、多くの台詞が書かれています。ですから、原文で聴くと、意味を追いきれなくても耳に心地よく響きます。しかし翻訳すると、この音の良さはどうしてもこぼれ落ちてしまいます。

講談にも、七五調をはじめ、そのまま外国語には移しにくい独特の調子があります。それなら英語の韻律も講釈に生かせるのではないか、そう考えて、英語と日本語を併用し、シェイクスピアの原文を用いて講釈する形では、すでに何本か口演しています。一方、日本語の講談に翻訳・翻案する試みも進めています。こちらは、まだお披露目に至っておりません。

【日本人のためのシェイクスピア】

先日、『リア王』の芝居を観てきました。主演は著名な歌舞伎俳優。和洋を取り合わせた衣装には、戦国時代を思わせる趣もありました。ところが、エドマンドが父グロスター伯に、兄の陰謀を装った偽の手紙について、「『窓』から投げ込まれていた」と説明する場面で、ふと引っ掛かりました。原文に沿った台詞ですが、和服姿から日本の武家屋敷を思い浮かべていた私を、その「窓」が西洋の住まいに呼び戻したのです。なにか、「和装をした西洋人」の顔が覗くわけです。

和洋が入り交じるのも一つの演出でしょう。そこから私が考えたのは、衣装だけでなく、人物の暮らしや考え方まで日本に移すにはどうすればよいか、ということです。目指すところは、「日本人の日本人による日本人のためのシェイクスピア」です。

【『ヴェニスの商人』を江戸に移す】

『ヴェニスの商人』を取り上げてみましょう。ユダヤ人の金貸しシャイロックが、アントーニオに三千ダカットのお金を貸す。返済できなければ胸の肉一ポンドを切り取るという証文を盾に、胸の肉を要求し、裁判で敗れる。これを江戸に移してみようと考えています。

ただ、ユダヤ人とキリスト教徒の間にある宗教的・社会的な隔たりは、日本のお客様には説明なしで伝わるとは限りません。そこで考えたのが、盲人の座頭です。江戸時代には、当道座という盲人の組織が幕府の保護を受けていました。そこに属する盲人の貸金業も、盲人保護のための、いわば福祉政策として保護される一方、高利や厳しい取り立てが世間から疎まれることもありました。この立場を借りれば、シャイロックの抱える周囲との隔たりを、江戸の物語として描けるのではないか。



講談の先人にも、『ベニスの商人』を口演した

と思われる西尾鱗慶という人がいます。その中では、アントーニオは安藤仁蔵、シャイロックは賽六として出てきます。原作の響きを比べると、このユーモアも面白いものです。

もっとも、名前の仕掛けだけでは足りません。シェイクスピアを知らないお客様にも、講談として楽しんでもらいたい、シェイクスピアとして楽しんでもらいたい。言葉を講談の調子に乗せ、人物には江戸で暮らしてもらう。その結果、一席の講談として面白くなっているか。まだ道半ばですが、そんなことを考えながら取り組んでおります。

コラム

講談の「決まり文句」図鑑

「やあやあ、遠からん者は音にも聞け、近くば寄って目にも見そうらえ。我こそは……」敵と相対する時、講談ではおなじみの名乗りです。これから何者が登場するのか。こう切り出されるだけで、聞く方も身構えるのではないでしょうか。講談には、このように情景を描く決まり文句がいろいろあります。

まずは、武芸ものでも良く登場する、薙刀を振り回す時の一節です。

「扱く手、薙ぐ手、開く手八艘烈風返しに十文字、ありとあらゆる秘術を尽くして打ち込んで参りますのを、ひらりひらりと体をかわすその有様は、さながら菜の花に戯れる胡蝶の姿もかくやとばかりと思われたり～！」

菜の花の周りを舞う蝶に例えるとはなかなかに風情のある文句です。

お次は得物、武器が決まっていない立ち合いの一節。

「虚と見せては実と変わり、実と見せては虚と変わる。まこと変化の早業は水に映れる月影の波のうねうねうねるに似たり。二匹連れたる唐獅子が、牡丹に狂う風情を表し、集散離合の手を砕き、劣らじ負けじと火花を散らし、六十余合と戦ったり～！パーンパンパン」

講談というものは便利なもので、歌舞伎や映画、視覚的に情景を描くエンタメであればどんな武器を使ってどう戦うかという部分まで細かく詰めなきゃいけない。しかし、講談であればそういったところはお客様の想像力に丸投げできてしまいます。ですから、武器を決めていない決まり文句でもなんとかなってしまうわけです。お客様の想像力があればこそです。

一手一手を細かく説明しなくても、水面に映る月影に唐獅子、そして菜の花と蝶。華やかな景色を使って、流れる言葉の調子から攻防の激しさや身のこなしが浮かんでくる。ぜひ一度、声に出して読んでいただきたいところです。

歌舞伎の立ち合いにも決まった型があり、ツケの音が動きを際立たせます。型を共有していれば、毎回すべてを一から作る必要はありません。講談も、決まり文句を使うことで、より多くの物語をお届けできるようになるのです。これが生活の知恵です。声や間や息遣いを加え、お客様の想像をお借りして初めて、高座にない刃が交わる。これが「決まり文句」のキモです。

決まり文句の実演動画で見られます↓





チケットの申し込みは
こちらから →

神田ようかん　プロフィール

講談師 神田春陽門下 、2022年6月入門。講談協会に所属して、現在は前座として日々研鑽中。昔取った杵柄を思い切り振り回して、『千住七不思議』や『本所七不思議』を取り上げて、英語を用いた講談などにも手探りで挑戦しています。本連載では下っ端の自分が、講談についてみなさまに知ってほしいこと、日頃考えていることなどを生意気ながらもご紹介できれば幸いです。どうぞごゆるりとお付き合いください。

法人会インフォメーション

支部活動報告

第9支部　役員会

開催日：８月20日（木）
場　所：はなの舞六町駅前店
参　加：13名



第13支部　税務研修会 役員会

開催日：９月９日（水）
場　所：足立成和信用金庫 佐野支店
参　加：20名/14名



第12支部　税務研修会

開催日：９月10日（木）
場　所：竹の塚地域学習センター
参　加：21名



第10･11支部　合同税務研修会

開催日：９月16日（水）
場　所：東京都トラック協会 足立支部会館
参　加：23名



第8支部　役員会

開催日：10月６日（火）
場　所：足立成和信用金庫 亀有駅前支店
参　加：９名



第10･11支部　合同役員会

開催日：10月15日（木）
場　所：松鈴
参　加：15名



税務研修会・署長講演会・意見交換会





使用済み切手・はがき寄贈式の様子
請井税務署長（左）と牛島部会長（右）

足立区勤労福祉会館にて講演会の様子

第１部の税務研修会では、村松第一統括官に講師をお願いし、「外国人旅行者向けの消費税免税制度の見直し」についてご講演いただきました。

ポイントとしては、①制度を悪用し消費税逃れをしている問題　②改正の目的は消費税不正還付防止　③今年11月より購入時免税制度から※**リファンド方式**への変更です。旅行者にとっては、その場で税抜価格になるわけではなく不便になりますが、便利さよりも、制度の適正化と不正防止を強めるため、とても重要な事だと思いました。

第２部の署長講演会では、請井（うけい）署長に「千住発！税の過去・現在・未来」をテーマにご講演をいただきました。

第2ブロック　（第4･5･6支部）役員交流会

開催日：９月16日（水）
場　所：遊食屋 楽
参　加：14名



飛鳥時代から現代へと変革してきた税金の仕組み、DX化のお話し。千住大橋や大綱引き、千住の酒合戦、千住由来のお話などを取り入れ、現在の足立税務署は平成６年に建てられたことをお聞きしました。ここで請井署長よりクイズです。

Q.　江戸時代の税は年貢が中心でした。各地の幕府領から年貢米を徴収しましたが、年貢米を収納していた最大の米蔵はどこでしょうか？

①本所御蔵　②竹橋御蔵　③浜御蔵　④浅草御蔵

答えは12Pにあります。

足立税務署請井署長、村松第一統括官、大変お忙しい中ありがとうございました。

（参加人数55名　公益事業委員長　矢島　大介）

※ 免税品を一旦税込価格で販売し、出国時に条件を満たした分の消費税を後から払い戻す仕組み

ワンポイント 健康を応援する　第139回

運動についての独り言

葛飾健診センター長　吉原　一郎 先生

食べ過ぎ、飲みすぎ、運動不足で思い当たることありますか？の問いに、あなたはどう答えるだろうか。どれも主観的なところが難しい。とりわけ運動については、仕事がデスクワークではない場合、多くの人が自分は十分に動いていると認識している。

私の考える運動の定義三つ

1. 無駄な動きである
2. 自分のペースではない
3. 心拍数があがる

親方と数人がいるとして、同じ現場仕事だとしても卒ない動きで自分のペースで動ける親方は運動にならない。新人は親方からの指示で、あっち行ったりこっち行ったりで無駄な動きが多い。これは運動になる。

結果として、ぽっちゃりとした親方がひょろっとした新人という絵柄が、目に浮かぶであろう。

まさにジムに行って、重たいものを上げたり下げたり、無駄な動きそのものではないか。ひと駅手前の駅で降りて歩くなんて無駄に時間がかかる。

そうか私は、無駄なことが嫌いだから仕方ないのかと自己肯定してみたりする、今日この頃である。

説明会・研修会等ご案内

〈月例研修会〉◎法人税を学ぶセミナー

開催日		時　間	会　場	テーマ	サブテーマ
2026年11月17日	火	10：00～12：00	足立法人会館３階会議室	決算対策と税務	決算対策と決算・税務調査の対応
2026年11月18日	水	13：30～15：30			
2026年12月14日	月	10：00～12：00		消費税の税務	消費税の仕組み・申告と納付
2026年12月15日	火	13：30～15：30			
2027年1月13日	水	10：00～12：00		会社の一生と税務	設立～解散・清算の税務
2027年1月14日	木	13：30～15：30			

※ 参加費は無料となりますが、参加初回のみテキスト代として会員2,000円、一般参加者5,000円をご負担いただきます。
※ 4月より実施しておりますが、基本的にオムニバス形式の研修テーマとなっておりますので、年度の途中からご参加いただく形でも問題ございません。

〈決算法人説明会〉◎決算を前にした会社のために

開催日		時　間	会　場	対　象
2026年11月19日	木	13：30～16：00	足立税務署4階会議室	11月決算
2026年12月3日	木			12月決算

〈新設法人説明会〉◎新しく会社を設立した方は

開催日		時　間	会　場	対　象
2027年2月2日	火	13：30～16：10	足立法人会館３階会議室	新設法人

※足立法人会館　３階会議室　　住所：足立区千住中居町25－7　　TEL.3881－0326
※足立税務署　４階会議室　　住所：足立区千住旭町4－21　　TEL.3870－8911（内線212）

足立法人会

川柳

11月のテーマ「チャットピー（チャットＧＰＴ）」に多数のお申し込み有り難うございました。広報委員会・選者で厳選した結果、以下の5作品に決まりました。次回も奮ってご参加下さい。

チャッピーに　聞いた答えを　また検索　（睡蓮花）

答えを問い返すのは、大事な確認です。やはり、何となく不安なんですね。

結局は　最後に決めるの　自分自身　（千住在住）

ＡＩの回答でも、心配なのです。ご自身で確かめて決めることが肝要です。

チャッピーに　仕事取られて　出番なし　（フウセン）

現実にアメリカなどで起こっています。人間は出番なしで、職を失っているのです。

ピンチです　助けてチャッピー　夫婦仲　（課長部長）

チャッピーで解決できれば？夫婦問題は、それほど単純ではないと思いますが。

スピーチは　百発百中　チャッピーで　（北の国から）

急にスピーチが上手くなれば、少し出来過ぎだと、評判になりますが。

『総　評』

開発者の人間の能力を超えたＡＩをそのまま放置すると、制御不能になり逆襲されるというＳＦめいた話に驚かされました。それが単なる予想ではなく、確実性の高い話と聞き、さらに恐ろしくなりました。究極の行き着くところ、悲劇は地球温暖化ばかりではなかったのです。未来学は展望が開くことで次々と夢を実現してきましたが、此処で事態を転換せざるを得なくなったように思います。身近なチャッピーによる、人間の失業という現実もそう先の話ではなくなっているのです。今こそ人間は進歩を見直す位置に立たされているのです。

チャッピーに　すべて委ねて　私だれ？　藤袴

恋文を　チャッピーで書く　馬の骨　藤袴

1月号のテーマ【おせち】

「川柳」は、五・七・五のリズムで詠む口語の定型詩です。口語以外の言葉を用いることもあります。俳句と違い、季語を用いる必要はありません。テーマの言葉を入れる必要もありません。

お一人様、二句まで、ハガキ又は、ＦＡＸで投句

※句掲載の方には、クオカード（一、〇〇〇円分）を差し上げます。

締　切　二〇二六年十一月三十日（月）まで

投句先　〒一二〇－〇〇三五
足立区千住中居町二十五－七
ＦＡＸ　三八七九－三五四〇
（公社）足立法人会　川柳係へ
お寄せください。

〈選者・コメンテーター紹介〉

秋庭　隆（あきば・たかし）

戦後18年間、足立区に居住。現在、「東海道ネットワークの会21」顧問（藤沢市在住）。

10Pの答え　④浅草御蔵

あとがき

足立法人会の会員の皆様におかれましては、秋深まる季節を迎え夏の疲れや、寒暖差に依って生じる【夏バテ】や自律神経を乱しがちですが、体や神経的な健康に十分留意されているとおもわれます。

この心地よい気候のなかで、毎日を健康的で楽しく活動する為に、【食】【芸術】【読書】【自然・外の・アクティビティ】を積極的に楽しみ、精神的な質の【癒やし】と十分な睡眠を取り、2026年残り僅かな日々を寒暖差と冷えの対策を心掛け【志】を形にしていく為ご自愛専一にてお過ごしください。　（松森広報委員）

公益社団法人
足立法人会報
第304号　（通巻366）
2026年11月１日発行
発行所
公益社団法人 足立法人会
足立区千住中居町25－7
電話　（3881）０３２６
メールアドレス
koueki@adachi-houjinkai.or.jp
編集人
広　報　委　員　会